

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 熊本大学教職大学院
コラボ研修プログラム	事業名：【NITS・熊本大学教職大学院コラボ研修】 カリキュラム・マネジメントの考え方・実践について
支援事業報告書	研修等名： 「カリマネ」で子どもが変わる、教師も育つ、学校が変わる ～カリキュラム・マネジメントで描く新しい学校のカたち～
	開催日時：令和6年1月5日 14時00分～16時30分 開催場所：熊本大学（熊本県熊本市中央区黒髪2丁目40-1） 参加人数（総数）と参加者の属性：（55人）指導主事4人、管理職14人、教諭31人、教授6名

内容：

カリキュラム・マネジメントについて、①カリキュラム・マネジメントとは、②教育課程とカリキュラム、③カリキュラム・マネジメントと授業との関係性、④教科横断的な学習、⑤学習評価とマネジメントサイクル、⑥児童生徒参加の可能性、⑦実践事例の紹介の7つの講演内容であった。

カリキュラム・マネジメントの究極は子どもの学びをマネジメントすることであり、子どもが何を学んだか、学ばなかったかを明らかにする必要性が分かった。教科横断的な学習として、本匠小学校経営方針を例に、PDCA サイクルで行事と行事をつなぎ、児童の資質・能力を育てる取り組みを紹介していただいた。また、学習指導要領改訂の方向性として、新たな問題状況に対して、既存の知識を組み合わせ、新しい知識を創造できることが一層重視されていることから、教科横断的な学習を実施することで学習の転移を可能にすることを教えていただいた。評価については、「子どもに表れた課題」を明らかにすることから始めるマネジメントサイクルで、課題の共有化を図っていくことの重要性やゴール設定とゴールフリー評価も組み合わせを行い、想定外の出来事も直視することが大事であることが分かった。J.ハッティの『教育の効果』を紹介していただいた。学校の達成を最大化するのは、自己効力感、高校の能力別編成、教師の信用性、学習における宿題、数学での協同学習の中で、一番は教師の信用性であると述べられ、教師が生徒の目線で学習を見ることの大切さを強調された。また、生徒が自分自身の教師となれるように支援することも重要であることが分かった。これらのことを踏まえ、各学校のカリキュラム・マネジメントの実践事例を紹介していただいた。子どもが学び方を学び、授業で発揮する実践や DCAP の経営サイクルを実践されている事例など、各学校のカリキュラム・マネジメントの工夫を知ることができた。

最後に、カリキュラム・マネジメントのポイントとして、「つながり」を作ることの重要性を強調された。1点目は、カリキュラムの中で目標と授業、単元と単元、生活と学校の学びの中でのつながりである。2点目は、人と人とのつながりである。カリキュラム・マネジメントを実践していくためには、2～3人で他校の先進事例を見に行くなど、仲間とともに子どもの学びをよく見つめ、子どもの姿と教育活動の関係を語り合うことの大切さを述べられた。一から新たにカリキュラムを作るのではなく、今あるカリキュラムを少しアレンジしたり、方法を変えたりするだけでカリキュラム・マネジメントの実践につながることを一貫して強調された。

成果：参加者の事後アンケート結果より

- ・カリマネについて詳しく知ることができ、学びの多い講演会であった・・・100%
(自由記述)
- ・「田村先生の講義は、実践と理論がかみあっており、とてもわかりやすい講義でした。本校では、総合の計画を大幅に変える予定です。今回の講義を参考に、子どもの学びにつながる内容にしていきます。」
- ・「田村先生の講話を聞いて、私自身の教育観を見つめ直すことができました。何のために教師になったのか、子供にどんな力を付けたいのかを改めて考えることができました。子供の立場にたった学びを大事にした実践をしていきたいです。」

アイデアや工夫したこと：

- ・カリキュラム・マネジメントの先駆者である田村先生に直接質問できる時間を十分に確保した。
- ・事前に田村先生に質問したいことなどをアンケート調査して伝えることにより、参加者のニーズに応じた講演内容が実現できた。
- ・冬季休業中の勤務日に講演日時を設定することで、多くの方が参加できるようにした。
- ・熊本県内の全小中学校へのチラシの配布、SNS等での全国への呼びかけを行った。

<写真・図など>

NITe X 熊本大学
教育文化庁
熊本大学

①カリキュラム・マネジメントの知識を深める

カリマって何? これていいの? 何から始めればいいのか?

今さら言えない悩み 実践を進めてみたい

教科と教科を繋いで、どのように実践すればいいの? 仕事が増えるんじゃないの? ほんとに子どもが伸びるの?

具体的実践を知りたい 不安に思っている方

カリキュラム・マネジメントがわかり、実践しようとする

司会者による諸注意 宮原大輔氏.

NITe X 熊本大学
教育文化庁
熊本大学

②田村先生とたくさん話す機会を設ける

【日程】
14:00 開会 主催者挨拶 趣旨説明
14:10 講演
15:40 休憩
15:50 質問タイム
16:20 閉会
17:30 田村先生との懇親会

参加者一人ひとりが田村先生と話をしてほしい

アウトプットで理解を深める。
(お願い)
講演の時には、メモをして先生への質問を考えておいて下さい。

趣旨説明 宮部健太氏



講話 田村知子氏



参加者同士で意見交流をする様子



会場全体の様子